

教科	公民	科目	必修選択 現代社会	3学年	3単位
使用教科書	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)		使用教材	最新現代社会資料集2021 (第一学習社)	
授業担当者					

目標	現代社会の基礎的な知識の確実な習得を図り、それらを活用して主体的に考察する力、課題解決能力の醸成を図る。
----	--

学期	単元・指導内容(章・節・項)	予定時数	具体的な指導目標	評価の観点・方法
1学期	第1編 わたしたちの生きる社会 1 地球環境問題  第2編 現代社会と人間としてのあり方 第2章 個人の尊重と法の支配 1 民主政治における個人と国家 2 基本的人権と法の支配 3 世界のおもな政治体制  第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 1 日本国憲法の基本原理 2 平和主義と安全保障 3 基本的人権の保障と新しい人権 4 国民主権と議会制民主主義 5 内閣と行政の民主化 6 裁判と人権保障 7 地方自治と住民の福祉 8 世論形成と政治参加	42	・現代社会の諸問題について自己とのかかわりに着目して課題を見出し、幸福、正義、公正などの観点から多面的・多角的に考察する。 ・個人の尊重、国民の権利の保障、法の支配と法や規範の意義及び役割を理解する。 ・民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、多面的・多角的に考察する。 ・日本国憲法の基本原理や議会制民主主義と権力分立について理解する。  必修の授業で学習した内容を生かし、発展的な学習を進める。 適宜、入試問題や公務員試験の問題を解き、進路に向けた学習を行う。	・授業への取り組み(発言、グループワークへの取り組み) ・提出物(ワークシート) ・定期考査
2学期	第4章 国際政治の動向と日本の役割 1 国家主権と国際法 2 国際連合の役割 3 今日の国際社会 4 核兵器の廃絶と国際平和 5 地域紛争と人種・民族問題 6 国境と領土問題 7 外交政策と日本の役割  第5章 現代の経済社会と私たちの生活 1 経済社会と経済体制 2 経済主体と企業の活動 3 市場経済のしくみ 4 経済成長と景気変動 5 政府の経済的役割と租税の意義 6 金融機関のはたらき 7 戦後の日本経済の動き 8 産業構造の変化 9 雇用と労働問題 10 公害の防止と環境保全 11 消費者保護と契約 12 社会保障と国民福祉	42	・国際社会の動向や諸問題から課題を見出し、国際平和や国際協力、国際協調の必要性及び国際的な組織の役割について多面的・多角的に考察する。 ・現代の経済社会の変容、市場経済の機能と限界、政府の役割と財政・租税、金融、経済成長や景気変動と国民福祉の向上、雇用、労働問題、社会保障、公害の防止と環境保全について理解する。  必修の授業で学習した内容を生かし、発展的な学習を進める。 適宜、入試問題や公務員試験の問題を解き、進路に向けた学習を行う。	
3学期	第6章 国際経済の動向と日本の役割 1 国際経済のしくみと貿易の拡大 2 進む経済統合 3 国際経済の動向 4 発展途上国の経済と南北問題 5 国際協調と日本の役割  第1章 現代に生きる青年 1 青年期の意義と自己形成の課題 2 現代社会における青年の生き方 3 伝統や文化と私たちの生活  第7章 現代に生きる倫理 1 豊かな人生を求めて 2 日本の伝統的なものの考え方 3 近代の西洋思想 4 現代に生きる人間の倫理	28	・国際経済に関する諸問題及び国際平和や国際的な経済協力の必要性、日本の政治的、経済的、社会的な役割について考察する。 ・生涯における青年期の意義を理解するとともに、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察する。 ・現代に生きる人間が直面する諸課題について、多面的・多角的に考察する。 ・先哲などの考え方や生き方に関する諸資料を活用し、倫理的な見方や考え方を深める。  必修の授業で学習した内容を生かし、発展的な学習を進める。 適宜、入試問題や公務員試験の問題を解き、進路に向けた学習を行う。	